

地域密着型金融の取組み状況

平成21年4月～平成22年3月

平成22年5月

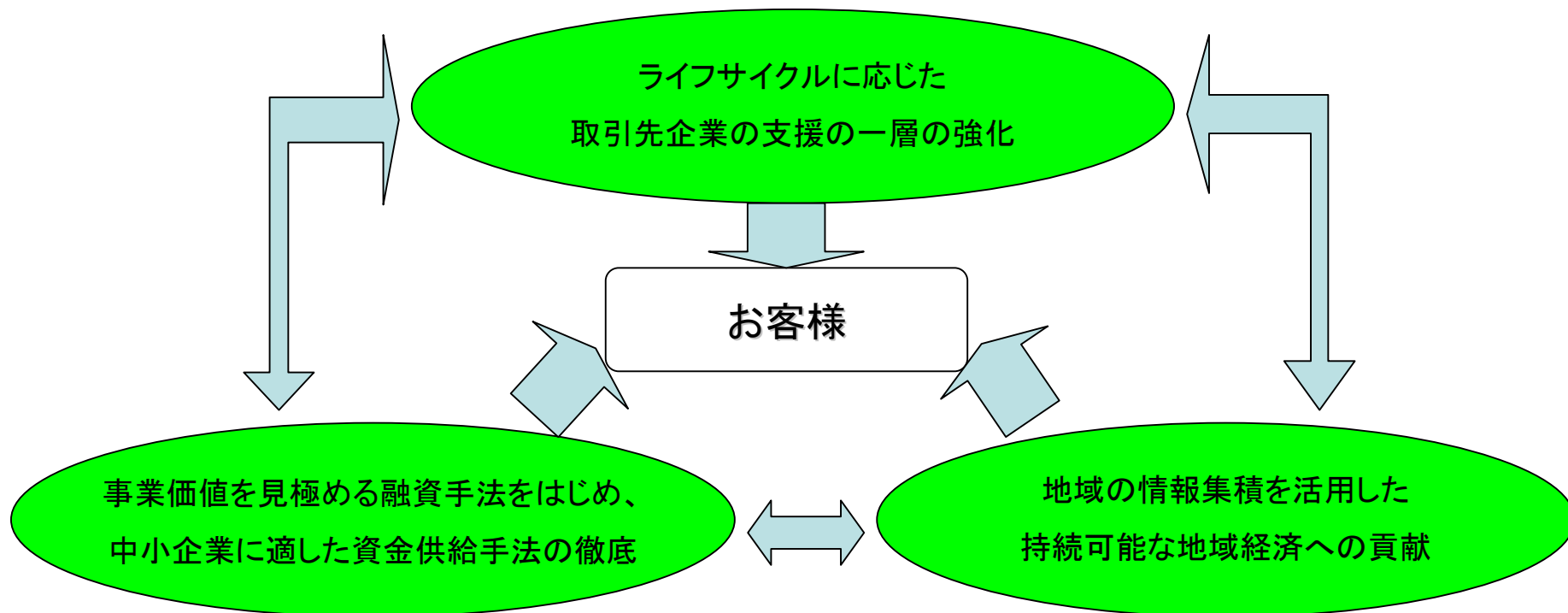


目次

1. 平成21年度地域密着型金融の取組み 1
2. 平成21年度地域密着型金融の取組み成果 2
3. 地域密着型金融に関する取組み事例 1 3
4. 地域密着型金融に関する取組み事例 2 4
5. 地域密着型金融に関する取組み事例 3 5
6. 地域密着型金融に関する新たな取組み 6
7. 経営改善支援の取組み実績 7

1. 平成21年度地域密着型金融の取組み

当行の平成21年度地域密着型金融は、第11次長計の2年目の年度にあたり、また普銀転換20周年運動のコアの年度と位置付け、中小・金融機関向け監督指針の3本柱を中心として取り組んで参りました。
更には中小企業金融円滑化法の施行により地域密着型金融に磨きを掛けるべくコンサルティング機能の充実に努めています。



2. 平成21年度地域密着型金融の取組み成果

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

- ◆「高度差4,000」への参画…地域密着型金融に関する取組み事例1(3頁参照)
- ◆研究機関や支援機関との連携…FITネット商談会への参加協力(ブース展示、ビジネスマッチング)、共同でセミナーやビジネススクールの開催
- ◆新事業取組み先への支援…新しい事業への取組みを行っている取引先58社に対しての事業計画・見通しに関する相談、金融支援
- ◆制度融資を活用した取組み…ファースト20-50の積極的取組み(制度融資とプロパー融資の協調融資制度の提供)
- ◆企業個別相談会の開催…地域密着型金融に関する取組み事例2(4頁参照)

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ◆信用保証協会保証の制度融資とプロパー資金の組合せによる資金繰り支援
- ◆企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み…審査能力の向上を目指し、受講生75名を対象に延べ20回の「審査部トレーニーを実施
- ◆業種別の専門知識習得のための態勢整備…業種別審査マニュアルを2業種追加(計7業種)し、特殊業種の専門性向上

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- ◆「FITネット商談会」…地域密着型金融に関する取組み事例3(5頁参照)
- ◆ビジネスクラブによる各種経営情報の提供…中小企業向けの各種経営情報を会員向けに毎月インターネット、FAX、CDにより発信するとともに、セミナー(計5回)を開催
- ◆富山県新世紀産業機構、富山県中小企業団体中央会、富山商工会議所等による地域力連携拠点事業への協力…共同セミナー計2回開催(平成22年4月1日に中小企業応援センターの設置により、地域力連携拠点事業は廃止)
- ◆省エネルギー化を目指す地域企業に対する支援…省エネルギー診断サービスの実施(計1件)
- ◆「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」サポート…補助金申請、つなぎ資金対応、制度融資提供、産学連携等トータルサポートの実施
- ◆ビジネススクールの開催…若手代表者、後継者を中心として計6回開催。うち3回は経済産業省事業「IT経営応援隊 経営者研修会」として開催
- ◆小学校などへの「紙芝居による金銭教育の出前教育」の開催…29校で延べ52回、1,860名の児童を対象に実施

3. 地域密着型金融に関する取組み事例1

富山大学/地域再生塾「高度差4000」への参画

- 富山大学と連携し「富山の自然環境を活かした環境ビジネスの研究、事業化支援」する事業です。
- 当行は共同研究員として参加し、講義運営、参加企業サポート等の実務運営を行っております。
- 21/12～22/9計29回（初級コース17回、中級コース12回）、10社が参加しています。
- 現在はビジネスプランを作成中しており、農商工連携の認定支援及び商品開発支援を実施しています。

富山第一銀行 + 富山大学
 地域再生塾「高度差4000」講座説明会の開催

富山大学の取組(シレッリ)をきっかけに、本学の地域貢献活動として展開する、地域再生塾「高度差4000」(再生産(リ×米×所用)の採り手人材育成)を実施することで、経済的・社会的に求められる人材を育成し、今後の富山の暮らしに不可欠な、高度差4000をテーマに活用できる地域マネジメント人材を育成します。

充実の環境学習と、プランニング実践をビジネスに!
 今、環境ビジネスへの関心が高まっています。

富山の自然環境(環境商機創出)を学び、
 「環境ビジネス活性化へのヒント」
 講義・ディスカッションで学び、
 「ビジネスへの具体的な行動計画」
 ビジネスプランを作成しよう! 「高度差4000ゼミナール」

塾生募集!

コース	開催日	講師
初級コース	平成31年12月	オリエンテーション/高度差4000マスター-初級編
	平成32年1月-2月	高度差4000ゼミナール
	平成32年3月	高度差4000ゼミナール-グループ実践
中級コース	高度差4000コミュニティビジネス講座	
	平成32年4月-5月	コミュニティビジネスの活用と実践
	平成32年6月-8月	ソーシャルインパクトとして実践の活用
	平成32年7月	高度差4000ゼミナール-実践編
	平成32年7月-8月	高度差4000マスター-初級ゼミナール

【初級会参加申込費】 F A X 076 - 446 - 8033

日 時 : 平成31年11月27日(金) 14:00~18:00 (受付開始 13:30)
 会 場 : 富山大学 五福キャンパス カフェテリア2階 会議室
 (〒930-8503 富山県富山市 電話:076-446-8518)
 定 員 : 30名(先着)
 問い合わせ先 : 富山大学 社会連携グループ 地域貢献ゲーム (TEL. 076-446-8519)

富山大学行先 【初級会参加申込費】 F A X 076 - 446 - 8033

※ 申込は専用の方針「初級会参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください。
 開催日: 11月27日 (金) 14:00~

氏 名	
所属機関	
住所 (郵便)	
送 附 別 冊	富山第一銀行 支援 ()

※ 申込みに当たって適切な個人情報は、地域再生塾「高度差4000」事務局以外の目的には提供いたしません。

MARQUEE 「高度差4000」

4. 地域密着型金融に関する取組み事例2

企業個別相談会の開催

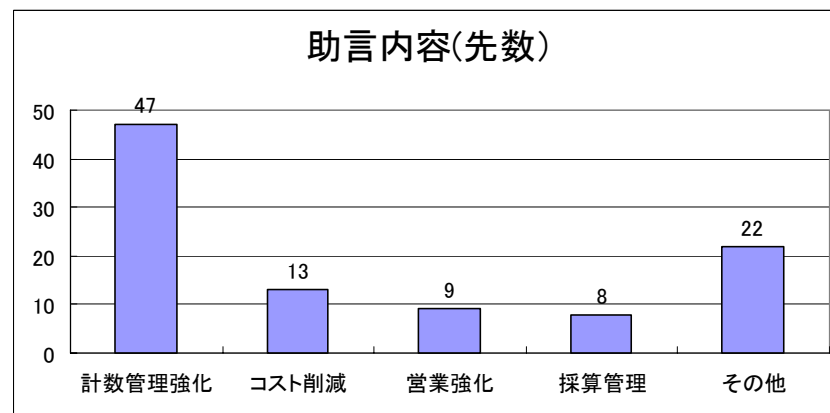
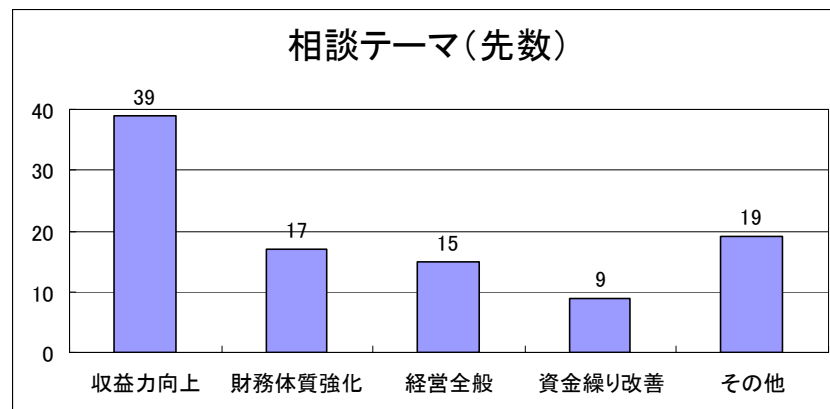
第2回(21年4月～22年2月)・・・対応件数100先

第3回(22年3月～)・・・対応件数18件

※収益改善、財務改善に向けた助言、
経営改善計画の作成支援を行いました。

■相談テーマ・・・収益力向上39先、財務体質強化17先
経営全般15先、資金繰り改善9先

■助言内容・・・計数管理強化47先、コスト削減13先
営業強化9先、採算管理8先



5. 地域密着型金融に関する取組み事例3

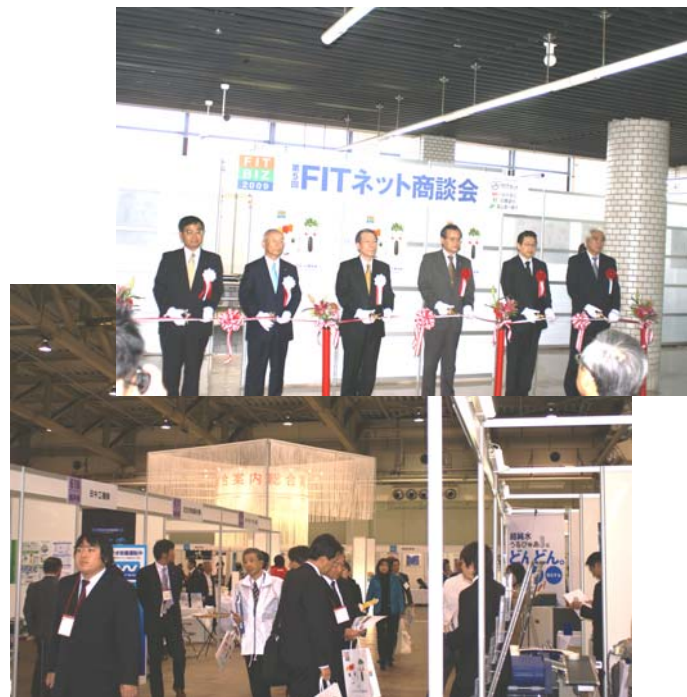
「食」と「匠」をテーマとしたビジネスマッチング

(FITネット商談会)の開催

北国銀行、福井銀行、当行の3行の業務提携事業である第5回FITネット商談会を開催しました。

メインテーマを「食」、サブテーマを「巧(食に関連する技術)」に絞り、北陸3県を中心とした食品製造・販売、食器や食品関連機械製造業など362企業・団体が参加し、ビジネスチャンス開拓に向け商談を行いました。

全商談数1,140件、成約数224件の実績がありました。



6. 地域密着型金融に関する新たな取組み

中小企業応援センター『とやま中小企業応援ネットワーク』の設置

地域の中小企業団体、地域金融機関、税理士、NPO等の中小企業支援機関等(以下、「支援機関」という)の経営支援能力を補完・強化することを通じて、中小企業の新事業展開、創業、事業再生、再チャレンジ、事業継承等の高度・専門的な経営課題への対応を支援します。平成22年度中小企業応援センター事業(中小企業経営支援体制連携強化事業)

事業内容

- (1) 名称 とやま中小企業応援ネットワーク
- (2) 構成法人 当行、北陸銀行
- (3) 具体的な支援課題

○新事業展開支援

- ・経営革新…新たな事業展開に向けた支援
- ・地域資源活用…地域の素材や技術(地域資源)の活用によって、新商品開発や販路開拓、ブランド力構築の支援
- ・農商工連携…農林漁業者との連携によって、新商品開発や販路開拓、ブランド力構築の支援
- ・新連携…異なる分野の事業者が有機的に連携し新たな事業分野開拓に向けた支援

○創業、事業再生及び再チャレンジ支援

- ・創業支援…創業を目指す方に、必要な知識、ノウハウを提供し、各種創業関連施策を活用し、質の高い創業に向けた支援を行う。
- ・事業再生支援…事業再生の支援、中小企業再生支援協議会との連携
- ・再チャレンジ…事業継続の見通しが立たない方に、事業転換や再起業を支援

○事業承継支援

- ・事業継承および事業承継マッチング支援

○ものづくり支援

- ・ものづくりの高度化と事業化を支援

○新たな経営手法への取組支援

- ・ITを活用した経営力強化…IT活用による財務会計の整備を支援
- ・見えない資産の把握・活用…技術や創造力、人脈や信頼等を文書化し、信用力や経営力の強化につなげる

7. 経営改善支援の取組み実績

【21年4月～22年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み先 α				経営改善支援取組 み率 = α / A	ランクアップ率 = β / α
		αのうち期末に債務 者区分がランクアップ した先数 β	αのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先 γ	αのうち再生計画を 策定した先数 δ			
正常先 ①	6,672						
要注意 先							
うち 要注意先 ②	1,409	185	15	162	148	13.13%	8.11%
うち 要管理先 ③	39	6	2	1	6	15.38%	33.33%
破綻懸念先 ④	127	15	1	8	15	11.81%	6.67%
実質破綻先 ⑤	74	2	0	1	2	2.70%	0.00%
破綻先 ⑥	53	0	0	0	0	0.00%	0.00%
小計(②～⑥の計)	1,702	208	18	172	171	12.22%	8.65%
合 計	8,374	208	18	172	171	2.48%	8.65%

注) ・期初債務者数及び債務者区分は21年4月初時点まで整理

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。

・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその要注意先」にランクアップした場合はβに含める。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。

・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上。

・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」